



山都警察署・署協議会だより

TEL 72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせ等が掲載中です。

【熊本の声】

～体感治安に関する県民の意識調査結果（平成27年10月）より～

◎ 不安になる犯罪（上位3項目）

- ① インターネットを利用した犯罪
- ② 空き巣など住宅に侵入して物を盗む犯罪
- ③ 暴行、傷害などの粗暴な犯罪

◎ 効果が期待できる警察活動（上位3項目）

- ① 赤色灯を点灯したパトカーによるパトロール
- ② 通報に対する素早い対応
- ③ 犯罪の徹底検挙

◎ 今後提供して欲しい情報（上位4項目）

- ① 地域の犯罪や事故の発生状況に関する情報
- ② 犯罪の手口や事故の特徴的傾向に関する情報
- ③ 子どもや女性を対象とした防犯対策に関する情報
- ④ 被害にあった場合の支援に関する情報



これを受けて…

平成28年熊本県警察運営方針

『県民の期待と信頼に応える強い警察』

～安全で安心して暮らせる熊本の実現～

『安全・安心くまもと』実現計画2016』

◎ 重点課題～『高齢者の安全確保』

◎ 実施期間～平成28年1月1日から同年12月31日までの一年間

- ◎ 推進施策
- ① 犯罪の起きにくい社会づくり
 - ② 県民生活を脅かす犯罪の取締り
 - ③ 交通の安全と円滑の確保
 - ④ 災害・テロ等緊急事態への対処態勢の充実
 - ⑤ 県民の要請に応える取組と強い組織づくりの推進

サイバー犯罪など新たな不安や身近で発生する犯罪への不安に対して、積極的な警察活動を県民、町民と一体となって推進することにより、安全安心な山都町を実現します。



犯罪・交通事故発生状況（山都町）

事件・事故	平成27年12月中
刑法犯	1件（2件）
人身交通事故	2件（6件）

（ ）内は平成26年同時期の発生状況

保健センターだより



子どもの頃から生活習慣病を予防しよう



山都町では40～74歳の国民健康保険の方を対象とした特定健診において、約8割の方の血糖値が基準値よりも高い状況です。生活習慣病は大人になる病気と思われてきましたが、不規則な生活習慣を続けていけば子どももそれに近い状態になってしまうことがあります。

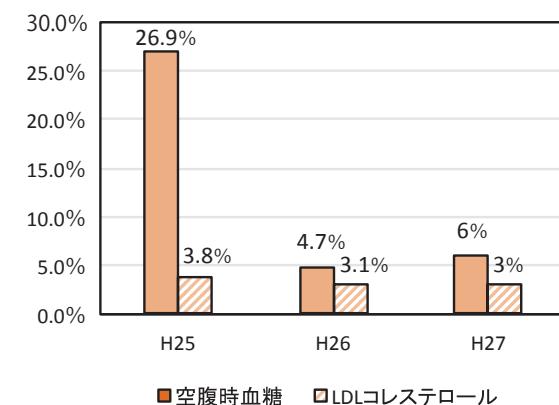
そこで、次世代を担う子どもたちの健康を守るために、生活習慣病を学ぶ機会として小学生を対象とした「小児生活習慣病予防事業」に取り組んでいます。

小児生活習慣病予防健診 H27年6月 小学5.6年生希望者



右のグラフは健診の血液検査で異常があった子どもの割合です。少数ですが、異常があった子どもさんがいました。

血液検査で異常が見られた子どもの割合



注）H25年までは小学5年生。H26から小学5,6年生が対象



小児生活習慣病予防教室 全小学校5年生対象

教室では、糖尿病はどんな病気か学びました。血糖を増やしすぎないためには食べ過ぎないことが大事です。血糖を下げる働きがあるインスリンは、一生に使える量が決まっています。子どもの頃からインスリンを使いすぎないために、おやつを食べ方を一緒に考えました。

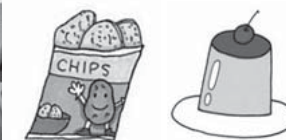


毎年たくさんの人が糖尿病の注意を受けています！

おやつは1日
200kcalまでです！



いつも食べている
おやつのカロリー
はどのくらい？



生活習慣病の予防には、子どもの頃から規則正しい生活を送ることが大切です。今回の教室を機に、家族で生活習慣を見直すきっかけになればと思います。

教室の感想（一部抜粋）

普段からおやつはあまり食べないけど、今日勉強して、将来糖尿病にならないように子どもの時から予防して大人になって後悔しないようにしたいと思いました。
中島小5年 岩永 陸央くん





速度取締り指針

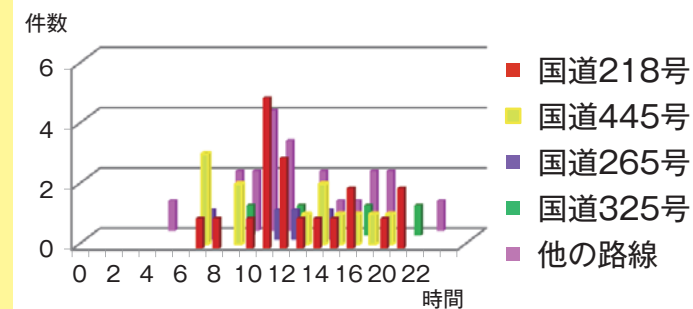
速度取締りの重点

次の路線、時間帯を重点に速度違反の取締り活動を推進する。
ただし、重点以外の路線、時間帯であっても、必要に応じて速度違反の取締りを実施する。

重点路線	重点時間帯	区 間	規制速度
国道 218 号	6:00 ～ 21:00	川野～仏原	50 キロ
国道 445 号	6:00 ～ 21:00	北中島～杉木	50 キロ
国道 265 号	6:00 ～ 21:00	菅尾～長谷	50 キロ
国道 325 号	6:00 ～ 21:00	東竹原～柳	50 キロ／法定

交通事故実態等の分析結果

人身事故等の発生状況(平成26年～平成27年6月)



- ◎国道での事故が全体の約65.7%を占めている（時間別は、7時～20時）。
- ◎事故態様・原因は、脇見による追突や居眠りによる中央線突破、ハンドル等の操作不適による路外逸脱等である。
- ◎速度に起因又は関係する人身事故も国道を中心に発生（平成22年～平成27年6月、19件発生）
- ◎平成27年3月発生の死亡事故は、速度超過が一因である。
- ◎死亡事故は、平成22年から6件発生（国道では、3件発生）

○山都警察署管内は、国道218号、国道445号、国道265号等の幹線道路が東西南北に走っており、総延長距離が長く、直線道路とカーブが交互に繰り返す、速度超過が関係する人身事故、物件事故が多発している。

また、当署管内は、宇城・御船・高森・宮崎県高千穂警察署と隣接し、熊本県と宮崎県とを結ぶ物流や観光の通過地点にあるため、管轄外居住者による通行及びこれに伴う事故が多発している。

○平成23年～平成27年6月までの人身事故178件中、117件(65.7%)が重点路線の国道で発生している。

○平成26年中発生した人身事故41件中、9件(21.9%)が速度超過が関係する事故である。

○平成27年1月～6月までの人身事故21件中、5件(23.8%)が速度超過が関係する事故である。

○平成27年3月に山都町東竹原の国道325号で発生した死亡事故は、速度超過を一因としてハンドル操作を誤り、対向車線にはみ出し、対向車と衝突した事故である（5月には、同路線の高森署管内でも死亡事故が発生）。

取締り要望 ※速度超過や追越しなど無謀運転等の取締り要望等が多数寄せられている。

その他の取締り要点

- 信号無視、一時不停止等、交通事故に直結する交差点違反の取締りも実施する。
- シートベルト違反等被害軽減のための交通違反取締りも実施する。
- 年間を通じ、飲酒運転等悪質かつ危険な交通違反の取締りを強化して実施する。
- 管内が広大であることから、交通機動隊との連携による取締りや白バイ・パトカーによる警戒活動も取り入れて実施する。
- 平成27年3月に発生した死亡事故は、高森署との境界付近の同一路線で発生したことから、同署との合同取締りを実施するほか、他の隣接する警察署との合同取締りも実施する。

●お問い合わせ・本館 73-1616 ・清和 82-3033 ・蘇陽 73-2755
●休館日：全館共通（月曜日・月末日・祝日・お盆・年末年始）

図書館クリスマス会・読書会が開催されました

昨年12月本館にて、「クリスマス会」と「読書会」が開催されました。クリスマス会には多くの親子連れが来場され、クリスマスのお話や、人形劇、矢部高校拳法部の皆さんのハンドベル演奏を楽しみました。矢部高校家庭科クラブの皆さんからの手作りのプレゼントもあり、すてきなクリスマス会になりました。

また、「君もなれる！読書名人！」では一つのお話をみんなで読みあい、感想を言い合ったりして、より深くお話を楽しめました。読みあった本は「エーミールと探偵たち 岩波書店」です。図書館に所蔵してありますので、参加できなかった方も読んでみてはいかがでしょうか。



図書館情報

ー読書とはまだ経験していないことを体験する事ですー

山都町図書館だより

声の灯り
ー 101 号ー

山都町立図書館蘇陽分館に関するアンケートについて

山都町立図書館では、図書館協議会において、蘇陽分館の在り方について、蘇陽地域全体の住民の利便性を考え蘇陽総合支所への移転が協議されました。

それを受けて、昨年11月に蘇陽地区の皆さんへ蘇陽分館に関するアンケートを実施し、アンケートの結果を集計しましたので、ご報告します。アンケート結果をもとにご意見等も含め、今後も図書館協議会で検討を行います。アンケートにご協力ありがとうございました。



アンケート実施期間H27年11月 対象：蘇陽地区1,492戸 回答：365件 回答率：24%
（無回答があるため合計と数値が合わない場合もあります。）

	馬見原	大野	菅尾	花上	二瀬本	橘	東竹原	長谷	上差尾	合計
回 答 数	86	29	62	21	40	15	49	26	20	348

蘇陽分館があるのを知っていますか

知っている	75	22	51	15	27	9	25	21	15	260
知らない	7	4	8	2	9	6	20	5	5	66
知っているが場所は知らない	1	3	1	2	4		4			15

蘇陽分館を利用していますか

はい（頻繁に）	18	3	1		4	1		3		30
はい（たまに）	30	5	14	4	9	1	10	3	1	77
いいえ	36	19	43	15	27	13	39	18	17	227

利用したことがない方はなぜですか

本に興味が無いから	15	5	10	1	6	3	7	4	1	52
遠いから	3	1	20	7	17	6	27	9	9	99
その他										

蘇陽総合支所に移転した場合利用しますか

はい	17	5	43	14	30	7	28	19	16	179
いいえ	60	18	18	1	9	7	12	6	2	133

★平成28年3月のわくわく号運行予定★



蘇陽地区

月 日	巡回場所・時間
3月9日(水)	蘇陽南小学校(午後1時20分～) 馬見原保育園(午後1時30分～) 菅尾保育園(午後2時15分～) 二瀬本保育園(午後2時45分～) 蘇陽小学校・配本(午後3時～) 蘇陽キッズ(午後3時15分～)
3月10日(木)	ブルーベリーの家(午前10時10分～) おおのまなび舎CAFÉ(午前10時30分～) 蘇陽苑(午前11時～) 蘇陽総合支所(午後0時30分～) 蘇陽中学校(午後1時30分～) そよ風の里ほたる(午後2時15分～) はあとふる(午後3時～)
3月11日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花寺公民館(午後0時30分～) 大迫公民館(午後2時15分～) 菅尾公民館(午後2時45分～) まこと薬局駐車場(午後3時30分～)

清和地区

月 日	巡回場所・時間
3月15日(火)	小峰保育園(午前10時～) 緑川簡易郵便局(午前10時40分～) 清和総合支所(午後0時30分～) 清和中学校(午後1時10分～) 大川保育園(午後1時30分～) 清和学童(午後3時～)
3月16日(水)	山都消防署(午前10時～) 井無田公民館(午前10時30分～) 井無田診療所横(午前11時～) 原尻公民館(午前11時30分～) 清和小学校(午後1時～) 支援ハウス(午後1時40分～) 市野原(午後2時～)

矢部地区

月 日	巡回場所・時間
3月23日(水)	金内公民館(午前9時45分～) こころ(午前10時30分～) 島木のお店(午前11時～) 矢部中学校(午後1時15分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時30分～) 大地(午後3時～)
3月24日(木)	御所保育園(午前9時40分～) 稲生野(午前10時15分～) 山風華(午前10時45分～) 山都町役場(午後0時30分～) あおぞら(午後1時35分～) 富士ラーメン(午後2時～)
3月25日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時35分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑・すみれ(午後2時～)

※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸出しに必要ですので必ずお持ちください。

※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。巡回場所での滞在時間は約30分です。

※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいますので、返却期限での返却にご協力ください。

蘇陽地区で伝統の“夜神楽”奉納！

仁瀬本神楽奉納会

1月23日、二瀬本コミュニティーセンターで夜渡神楽の奉納が行われました。仁瀬本神社神楽は、宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町の権現社（現、古戸野神社）より伝えられたものと言われています。

この日、夕方から雪が降り始めた中、午後6時ごろから始まり、午前0時ごろまで約6時間をかけて「神風（かみおろし）」「鎮守（ちんじ）」「杉登（すぎのぼり）」「岩潜（いわくぐり）」「五穀（ごこく）」「キネ舞」「伊勢（いせ）」「男女舞（だんじょまい）」「八鉢（やつぱち）」「大神（だいじん）」の舞が披露されました。今回の夜渡神楽は、新人2人を含む、14人の神楽保存会会員のみなさんによるものでした。

また途中では、室野神楽保存会（宮崎県五ヶ瀬町）による「神風」の舞も披露されました。



高畑年祢神社 夜神楽

1月30日、高畑年祢神社（高畑阿蘇神社）近くの公民館で夜神楽が開催されました。この神楽は、宮崎県から伝えられたと言われています。

夜神楽の開催は、平成26年におよそ30年ぶりに再開され、今年で3回目。午後6時ごろより午後11時ごろまで、約5時間をかけて披露されました。演目は、「社巡（やしろめぐり）」の2番に始まり、御神楽（みかぐら）三番として「神風（かみおろし）」「鎮守（ちんじ）」「杉登（すぎのぼり）」の3番、「磐潜（いわくぐり）」の7番、「岩戸神楽」として「柴引（しばひき）」「手力雄（たぢからお）」「伊勢（いせ）」「戸取（ととり）」「舞上（まいあげ）」の5番、「幣神添（へいかんぜ）」の3番で、全33番のうち20番が舞われました。

今回の夜神楽では、天の岩戸に隠れた天照大神を外に連れ出す神話の“岩戸開き”を題材とした岩戸神楽の一連の演目が披露されました。



浜美荘もちつき

12月25日、浜美荘でもちつきが行われました。もちつきをしてくださるのは、旧御岳中の同級生で発足された「十二志会」のみなさん。昭和50年、浜美荘が現在の土地に移ってきた時から始まり、40年以上の歴史があります。毎年12月に訪問され、浜美荘の恒例行事となっています。

もちろん入所者の方も、もちつきに参加されます。中には99歳の方もおられ、重い杵を振り上げる姿に、見ている方たちから歓声が沸きあがりました。

つきたてのモチは、その日のおやつに振舞われ、みなさんおいしそうに食べていらっしゃいました。



矢部高生のやさしい心… ありがとう！

12月22日、矢部高校で熊本県赤十字血液センターの移動採血車による集団献血が行われました。矢部高校では毎年冬の時期に献血が行われており、今回は生徒と先生から約40名の温かい協力がありました。

受付を前に緊張した様子の生徒たちでしたが、献血に協力したいという思いから、自ら進んで申し込む姿が見られました。

初めて献血した緑科学科2年の中野卓也さん（上寺）は「最初は緊張しましたが、思ったより痛くなかった。時間も短く感じた。また機会があれば協力したい。」と、真剣に話してくれました。

平成27年度において県内の高等学校で献血が実施されるのは24校で、上益城郡内は矢部高校のみ実施となりました。生徒会担当の裕本教諭は「献血の必要性や重要性について学んでもらうのが最大の目的。命の大切さについて考える機会となり、ボランティア精神も芽生える。今後も学校全体で協力していきたい。」と話していました。



「魅力アップ塾」ステップ2

1月22日、山都町女性の会連絡協議会主催による魅力アップ塾の第2回目が中央公民館で開催されました。山都町内の男女46名の参加があり、ホワイトリリー次長の宮本晴美氏による「10歳若く見えるメイク方法」、熊本大学名誉教授の徳野貞雄氏による「暮らしの中から地域づくり」と題した講演会を開催しました。講演では「地域づくりは各家庭、家族が充実していればよい。町外からでも子どもたちが手伝い等帰ってくる環境があればよい」等と話をされ、参加者は真剣な眼差しでした。

今回は、2月19日の18時から清和集落センターで「アロマテラピー入門」や上島榮一氏による「あなたを10倍魅力的にする話し方講座」が行われます。



新春 七草粥といも煮会

1月9日、道の駅通潤橋前で（社）山都町観光協会の主催により新春七草粥といも煮会が行われました。今回のイベントは七草粥やいも煮が昔ながらの風習で近年では食べることが少なくなってきたため、開催される運びとなりました。

今年の健康を願いふるまわれた七草粥といも煮に参加者は「とても美味しかった。」「来年も参加したい。」との意見が多くでした。

また、当日は餅つき大会も開催され、盛り上がりを見せました。

～七草粥のいわれ～

七草粥は正月行事として定着していますが、本来は1月7日の「人日の節句」の行事で、五節句のひとつです。

人日の日に「七種菜羹」（ななしゅさいのかん）という7種類の若菜を入れた汁物を食べて、無病息災を願うようになりました。またその日の朝に七種菜羹を食べ、立身出世を願ったといいます。

わたしたちの人権

131

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

子どもたちの人権作文

12月の人権旬間にあわせて、子どもたちが書いた人権作文をご紹介します。今月は3名の作品を紹介します。

「平和について考えたこと」

蘇陽小學校

6年
興こうろぎ侶
優ひろと斗さん



6年生になつてすぐ、学校の授業であるおじいさんの写真を見ました。その人の背中には、大きな火傷のあとが残っていました。先生

も熱かっただろうな。いたかっただろうな。」
 と思いました。最後に、語りべのじょう
 だいさんにお話を聞きました。空しゅう
 けい報の音を聞くとすぐにぼう空ごうに
 行くのでたいへんだと思いました。その
 ころの食べ物がとっても少なく、食事は、
 いも二つの時もあつたそうです。ぼくだ
 たらまたすぐにおなかへって仕事ので
 きなくなると思いました。一番ひどいと思
 ったことは、アメリカは原爆のい力を知
 っていたのに日本に原爆を二回も落とす
 ことです。戦争をやめなかった日本も悪
 いけど、たくさんの人をいっしょんにし
 て殺してしまふ原爆はぜったい使つては
 いけないと思いました。じょうだいさん
 は、日本が、また戦争をする国になつて
 しまふかもしれないとおっしゃっていま
 した。それを聞いて昔みたいになるのか
 なのと思いました。ぼくは、戦争をぜつ
 たいして欲しくありません。修学旅行から帰
 って、蘇陽にも戦争があつたのか調べま
 した。ぼくは、ばあちゃんに聞き取りを
 しました。ぼくは、ばあちゃんに「戦争に
 行った人おらん」と聞くと、ばあちゃんが、「ひ

いじいちゃんといじいじいちゃんの弟が戦争に行ったよ。ひいじいちゃんは帰ってきたけどひいじいちゃんの弟は、帰ってこなかった。それと家の近くに爆弾が落ちた。」と話してくれました。蘇陽にも爆弾が落とされたことを聞いてびっくりした話は、おとし亡くなったひいおばあちゃんが、山にしたいけ取りに行った時、飛行機からきかんじゅうでねらわれたことです。とつぜんじゅうでうたれて、おそろしかったと思います。もしも、ひいおばあちゃんがつたれて亡くなっていたら、ぼくも、弟もこの世に生まれていません。ひいじいちゃんは今も生きていて戦争にいったわけではないと思います。

ぼくたちは「今、平和かどうか」について考えました。友達の中には、「外国では、今でも戦争があっているから平和じゃないよ」と言う人もいました。しかし、ぼくは、友達と仲良く遊べるし、食べた物が自由に食べられるので平和だと思います。戦争は何のためにあるのでしょうか、どうして悲しい思いをしなくてはならないのでしょうか、人を人と思わなければ、起こると思います。もし今戦争がおきても、ぼくは人を殺すことなくてできます。世界には、今も紛争や戦争があっています。ぼくは、この勉強をしてこの世に戦争は必要ないと思います。たくさんの方が死んでしまうこともないし、ひいばあちゃんだってきかんじゅうでねらわれなくてすんだからです。ぼくたちが戦争の悲しみをわすれてしまったら、じょうだいさんたちが伝えてきたことや、谷口さんが、写真に写ってうったえてきたことが、おだになります。ぼくは、周りの人たちの中でいじめをなくし明るく楽しく過ごせるようにしていきたいです。そして平和な世界をめざしてみんなと助け合って成長していきたいです。

残念ながら、私たちの今の生活の中では、いじめや差別は無くなっています。いじめや差別が起きるのはどうしてだろうと私はいつも考えていました。そして一つの答えにたどりつきました。それは「知る」ということです。

よかしいと気付いたし、おかしいと言えようになつたからです。今年で五・二三集会に参加して五回目になりました。けど考えたり、思つたりすることは毎年ちがいます。差別や偏見は考えれば考えるほど、おかしいし、あつてはならないことだとぼくは思います。差別や偏見をなくすためには、一人一人の考え方や言葉、行動について、しっかりと考えていくことがとても大切だと、思います。矢部さんでは毎月二十三日にリポーター登校をしています。一人一人が差別や偏見について考え合う日です。とても大切なことだと思ひます。それが矢部地区だけではなく、清和や蘇陽、そしてもっともっと広がつてみんなで考え合える日になればいいと思います。そして五・二三集会にも子どもだけではなく、大人もたくさん参加して、人権について考える一日になればいいと思います。ぼくは来年も五・二三集会に参加しようと思ひます。自分のことを振り返つてみたり、聞いて思つたことは、どうしていくべきかを考えたりして、次に生かしていけるようにしたいです。

「知る」といふこと

矢部高等学校

1年
岡崎 おかざき
真実さん まみ



山都町の小学校・中学校の義務教育を受けた人たちは、教科学習とともに「人権」についても学んできました。

私の祖母は、よく周りの人から「怖そこ」と言われます。確かに、怖い時もあります。が、普段はいつも笑っているし、私が農業の話をしたら相槌を打ちながら聞いてくれます。それに、祖母が地域や地元の話を始めたら昔のおもしろい話をたくさんしてくれます。周りの人たちが知らないだけでなく、とても愉快な祖母だと思います。私は、学校のことをよく家庭で話します。家族の中で一番学校のことを話せる相手は祖母だと思います。

きつと、ごこの家庭でもお年寄りに聞くと昔の楽しい話をしてくれることだと思いま

私は十六年間家庭や学校で過ごしてきて、やっぱり人權に一番大事なのは一人ひとりが相手の人權を大事にすることだと思います。多くの友達は、人權に関する講演などを毎年聞いて、その時はいじめや差別はいけなくて気をつけようと思っていても、暫く時間が経つとそのことを忘れ、自分のこととして捉えられないことがあります。なかなか、いじめや差別は完全になくならないけど、本気で無くそうと努力するのなら、やっぱり相手を大切に思い大事にするべきだと思います。そのために私は「知る」ことから始めたいと思います。

私が一番嫌だと感じるのは、噂を信じていじめをしたり、その人と関わらなくなってしまうことです。回りの色んな人と話ができるのは今しかありません。もしかすると、明日には、話しかかった人が遠い所に行き、話すことができないかもしれません。後悔しても、もうその人の本当の気持ちや思いを知ることもができなくなるかもしれません。誰も外見や噂ではその人を判断することではできません。その時に暗い表情をしている友達の外見だけでその人を判断することは、難しいと思います。よく知らないのに知っているような素振りや、人を見下したり、弱いと決めつけていじめたりする。そうではなく、きちんと相手を知る努力をして、自分の本当の気持ちを相手に伝え語るべきだと思います。友達一・二人でコンソと話し、笑っているのが私は許せません。一人で堂々と相手に言うようになって、一対一でお互いに思いを語れる環境ができれば良いと思います。

は、子どもたちの作文発表と講演をそれぞれに自分の想いと重ねながら聴かれており、人権の重要性について改めて考える一日になりました。

集会参加者は、子どもたちの作文発表と講演をそれぞれに自分の想いと重ねながら聴かれており、人権の重要性について改めて考える一日になりました。

集いの町民を考える

2019/12/08 18:20

人権作文発表の様子



人権作文発表の様子



講演される林さん

**山都町人権を考える
町民の集い**

12月9日（水）矢部保健福祉センター 三
寿苑）において山都町人権を考える町民の
集いを開催しました。

12月9日（水）矢部保健福祉センター「千寿苑」において山都町人権を考える町民の集いを開催しました。

本集いでは、町内小・中・高校生による人権作文の発表と毎日新聞記者の林由紀子さんによる「現代の部落差別」取材を通して見てきたことと題した講演がありました。

子どもたちの人権作文は、人権学習や生活の中での気づき、人権に関する想いなどが発表されました。

講演では、京都府にある弥栄中学校における独自の人權教育に密着取材され、部落差別や家庭での問題等に向き合い成長していく子どもたちの姿とそれを支える先生の取り組みについてお話しされました。



講演される林さん



ぼくは五・三集会に参加しました。五・三集会では、矢部小や中島小、潤徳小、蘇陽小、清和中などが集まりました。ぼくが、五・三集会

に参加した理由は、差別や偏見のことをこの集会で考えて、自分がおかしいことをおかしいと気付き、言っていけるようになりたかったからです。参加してみても、一番心に残ったのは、解放子ども会の劇で、主題は「残す」です。解放子ども会の人たちが学習してきた白山のこと、ハンストのこと、内大臣のことを発表してくれました。白山だけが道や水道を良くしてもらえなかったことに腹が立ちました。なんで白山だけが差別されないかと思いました。役場は国から補助金がでていたのにそれもだまって、白山の人たちがそれに気付かず、役場の前にハンストを命がけでしていたのに、聞こうとしなかったのにも、腹が立ちました。これは水俣でチツソの工場に水俣病の患者さんたちが訴えにハンストをしたことと同じだと思いました。内大臣のことでは、内大臣の山に昔、枯れ葉剤がまかれたようにしたと発表がありました。枯れ葉剤はベトナム戦争のときにまかれ、森だけではなく人にも被害をあたらえたと言いましただけです。もし、その枯れ葉剤が内大臣の山にまかれていたら今の山都町はなかったと思います。けど命がけで闘い続けてきた人たちがいるから今の山都があると思います。それは水俣も同じです。水俣病と闘い続けてきた人たちがいて、訴えてきた人たちがいて今の水俣があると思います。最後に劇を

すくすく育て

平成27年12月11日 (千寿苑)



平成27年12月18日 (蘇陽総合支所)



すくすく育て

平成27年12月11日 (千寿苑)



山都町行事予定表

平成27年 2・3月

15月	確定申告・町県民税・国民健康保険税の申告相談 [3月15日(火)まで]／各地区	1 火	矢部高校卒業式／矢部高校
16水	やまトーク／上差尾	2 水	いきいき大学修了並びに卒業式／千寿苑
17木	やまトーク／下矢部西部 矢部地区移動図書	3 木	乳幼児健診（3歳児）／千寿苑
18金	第53回山都町就学前「同和」教育研究会／中尾児童館 矢部地区移動図書 法律相談日／清楽苑	4 金	
19土	矢部地区移動図書 魅力アップ塾／清和集落センター 乳幼児健診（4ヶ月、7ヶ月、1歳児）／千寿苑	5 土	
20日	健康フェスタ／蘇陽総合支所	6 日	そよう病院／☎83-1122 平成28年山都町消防団出初式／中央グラウンド
21月	矢部広域病院／☎72-1211 「ふるさとの杜」植樹プロジェクト／白糸地区犬飼展望所	7 月	
22火	やまトーク／白三	8 火	
23水	第2回清和地区保・小・中連携協議会／清和集落センター	9 水	蘇陽地区移動図書 広報やまと発行日
24木	やまトーク／下矢部東部 山都町老連蘇陽支部第11回老人大会／蘇陽総合支所 お知らせ版発行日 献血（矢部地区）／本庁玄関前	10木	蘇陽地区移動図書
25金	やまトーク／御所 集合税（町県民税・固定資産税・国民健康保険税）9期口座振替日	11金	蘇陽地区移動図書 熊本県知事選挙期日前・不在者投票日／本庁・各支所
26土	やまトーク／浜A 乳幼児健診（4ヶ月、7ヶ月、1歳児）／蘇陽総合支所	12土	町内中学校卒業式／各中学校 熊本県知事選挙期日前・不在者投票日／本庁・各支所
27日	地域ブランド化シンポジウム／本庁	13日	高田整形外科／☎72-1007 「若人の集い」～がまだす”わかもん”集まんなせ～／蘇陽総合支所 熊本県知事選挙期日前・不在者投票日／本庁・各支所
28月	瀬戸病院／☎75-0111	14月	熊本県知事選挙期日前・不在者投票日／本庁・各支所
29火	やまトーク／御岳 集合税（町県民税・固定資産税・国民健康保険税）9期納期限	15火	清和地区移動図書 熊本県知事選挙期日前・不在者投票日／本庁・各支所 確定申告・町県民税・国民健康保険税の申告相談 最終日（午前中のみ）／各地区

(当番医)
(お知らせ)
(イベント)
(発行日)



私の一枚



タイトル：どんどや
にしだ かつま
撮影者：西田 勝磨
撮影場所：馬見原(岩尾野)

【コメント】

宮崎県との県境の岩尾野地区と鏡山地区合同のどんどやを行いました。勢いよく燃え上がった火が少し落ち着いてくると、無病息災を願い竹の棒に挟んだ餅を焼きながら、お楽しみの料理とかっぽ酒が振る舞われます。ドライブや旅行で通りがかった人たちも加わり、にぎやかにどんどやを祝いました。

「私の一枚」作品募集

応募方法

フォトサークル山都運営局への写真の持ち込みは山都町内の写真に限定いたします。（内容は何でも結構です。）

タイトル、撮影者、撮影場所、コメントを作成していただきます。

掲載する写真は厳選な審査で決めた写真になります。

なお、発表は掲載をもってひかえさせていただきます。

〒861-3518

熊本県上益城郡山都町浜町187

TEL：0967-72-3455

フォトサークル山都事務局

（パソコンショップあひる倶楽部）